



逃げる2月をつかまえる

～次学年「ゼロ学期」の過ごし方～

この季節は一年の中でも特に寒さが厳しく、「大寒（だいかん）」と呼ばれています。大寒の最終日が「節分」で、古くから季節の変わり目は「邪気（鬼）が生じやすい」と考えられており、邪鬼が入ってこないように豆をまいたり、玄関にイワシの頭を刺した柵（ひいらぎ）の枝を飾ったりするそうです。確かに季節の変わり目は体調を崩しやすいです。昔も今も、健康を願う人々の気持ちは変わらないと言えますね。

さて「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるとおり、とくにこの時期は時の速さを感じます。「え、もうこんな時間？」という経験をしたことがある人も多いのではないのでしょうか。3学期は、いつも以上に時間を有効に使って生活する必要がありそうです。

そこで「4月からさらにステップアップするためにはどうしたらいいですか」と、いま話題の生成AIに聞いてみました。すると、次の3つの提案をしてくれました。

1. 生活リズムを整える

忙しくなる学年末ほど、生活リズムを整え、万全の体調でゴールをめざしましょう。

2. 身の回りの整理整頓と断捨離（だんしゃり）

使い終わったプリントや、短くなった鉛筆などを整理しましょう。ものが片付くと頭の中もスッキリし、新しい気持ちで新学期を迎えることができます。

3. 今の「つまずき」は今のうちに

学習内容が難しくなる前に、今年度習った部分の復習をしておきましょう。「わからない」を持ち越さないことが、最大の予習になります。

なかなか参考になると思いませんか？ 特に3つめの『『わからない』を持ち越さない』は、とても大切なことです。もし漢字や九九、割合の計算などでつまずいていることがあったら、先生やおうちの人と一緒に、今のうちに学習しておきましょう。

保護者・地域のみなさま、子どもたちの応援をどうぞよろしくお願いいたします。（文責：植村）

おづっこ集会を行いました



1月29日に、本年度最後のおづっこ集会が行われました。集会委員の進行のもと、5年生によるフローティングスクールの報告、全校児童での〇×クイズやインタビューなど、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。これまでの入念な準備がうかがえる、素晴らしい采配でした。

上級生の頑張りを見て、下級生たちは「次は自分たちもやってみたい！」という意欲を高めたはずです。これが「伝統」です。これからも、自分たちの力で、すてきな小津小学校を創造していきましょう。

